

# 大切に

【お白石持行事】は、四月七日より、四月四日の出初式を皮切りに、四月三日より、各地元奉獻団が二見興玉神社から祝いの奉納を執り行われます。お白石持行事が終ると、御遷宮となります。

【お白石持行事】は国の『選択無形民俗文化財』として選択されていることを皆さんはご存じでしょうか。正式名は『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財』です。



奥奉石白御 (高起ノ濱寄庄御前局使館田山ノヲ宛神) 宮外

歴史の中に一人の者として、有形無形関係なく、いづれも大切に守り続けられてきたモノや文化など、御遷宮の時に近づくにつれて、伊勢に居る者一人として、お白石持行事など御遷宮へ向けての歴史ある行事を大切に守りたいと思えます。

現在、風俗慣習・五件が選択されています。『御木曳行事』も同じく「選択無形民俗文化財」として選択されています。私共の仕事でも、形が残りますが、風俗慣習や民俗芸術など、大切なものを残さないように、大切に守りついで、重要であることも、多くも伝承して、文化を守り継承していくという、意味深い制度であると思えます。

## わが防災減災

3・11から2年と1ヶ月がたった先月13日に淡路島を震源とする震度6弱(M3.6)、17日には三宅島で震度5強(M2.6)。更に中国・四川ではM7.0(震度不明)の大地震が発生して、特に四川では5年前の四川大地震と同様に、甚大な被害がもたらされました。

淡路島の地震の数日後、お屋のテレビ番組に地震学者の方が出演されていました。地震学者の方々の考え方も様々らしく色々なことが出演者と学者の間で議論されていました。その学者の方曰く、地震を研究する上で、『地震学』と『地震予知』は違うものだとおっしゃっていました。簡単に言うと、『地震学』とは、技術を駆使して様々なデータを分析し、地震を予測すること。『地震予知』とは、今まで起こってきた様々な地震を歴史的に見て、次の地震を予測すること、とのことでした。ただし、その学者の方曰く結論として『地震学』の技術がいくらか進歩しても、『地震予知』の確率がいくらか高くなっても、100%地震を予測することはまず不可能だということでした。

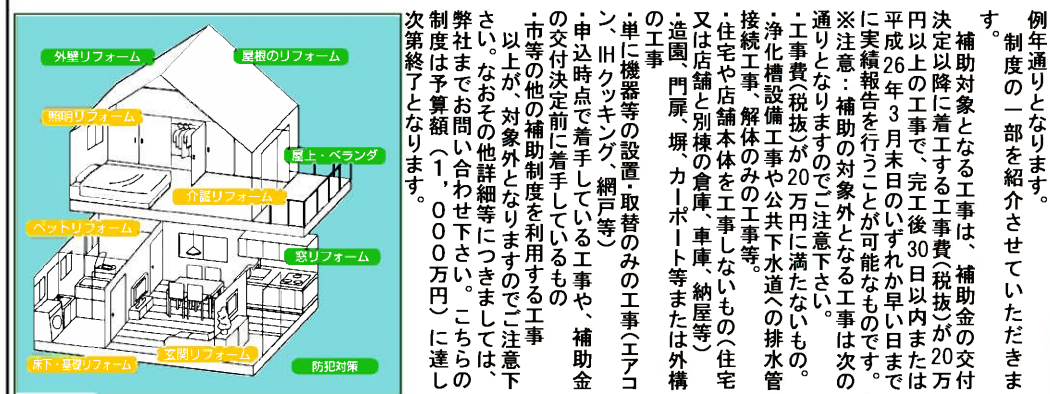
その学者の方の結論としては、これから起こるであろう巨大地震に対して、どのように備えれば良いかといえは、「一人一人が(防災・減災)にしっかりと取り組んでいくことだ」ということでした。確かに地震大国の日本でも暮らしている以上は、地震と自然現象と共存していくかなければなりません。今回の淡路島の地震では「阪神大震災」を経験した方が、非常に多かった為、地震発生後の避難の際に、非常持出袋を持っていた方が多くみえたそうです。『防災・減災』といえは、このように非常持出袋を用意しておいたり、タンクなどの転倒防止策をしたりといったことも大変重要です。又、それぞれがしっかりとした『防災・減災』に対しての意識を持つことも非常に大切なことだと思います。『備えあれば憂いなし』ということわざがありますが、不測の事態が起きた場合、100%は不可能であっても、被害を最小限に抑えたいという目的でも、『防災・減災』に対して、意識を高めていただければと思います。今回は『防災・減災』に繋がる住宅・店舗リフォームの伊勢市の補助金制度についてご案内させていただきます。例えば、『耐震補強は倒れずに済んだが、外壁が古くなってきた為、崩れ落ちてしまった』など様々なことが考えられます。毎年この制度が始まると、ご案内をさせていただいて、ご参考にしていただければと思います。



### 伊勢市 住宅・店舗リフォーム 促進事業補助金制度

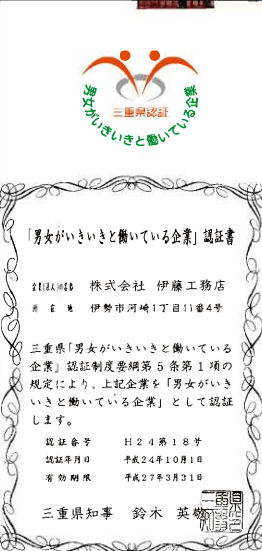
伊勢市では本年も伊勢市民の住宅・店舗のリフォームを市内の建設業者等で行う場合の工事費の一部を補助する制度が始まりました。5月1日より申請の受付が開始されました。補助を受けたい条件などについては例年通りとなります。制度の一部を紹介させていただきます。

補助対象となる工事は、補助金の交付決定以降に着工する工事費(税抜)が20万円以上の工事です。完工後30日以内または平成26年3月末日のいずれか早い日までに実績報告を行うことが可能なものです。※注意: 補助の対象外となる工事は次の通りとなりますのでご注意ください。  
・工事費(税抜)が20万円に満たないもの。  
・浄化槽設備工事や公共下水道の排水管接続工事、解体のみの工事等。  
・住宅や店舗本体を工事しないもの(住宅: 又住宅と別棟の倉庫、車庫、納屋等)・造園、門扉、塀、カーポート等または外構の工事。  
・単に機器等の設置(取替)のみの工事(エアコン、IHクッキング、網戸等)。  
・申込時点で着手している工事や、補助金の交付決定前に着手しているもの。  
・市等の他の補助制度を利用する工事。  
以上が、対象外となりますのでご注意ください。なおその他詳細等につきましては、弊社までお問い合わせ下さい。こちらの制度は予算額(1,000万円)に達し次第終了となります。



### 報告 三重県「男女がいいきいと働いている企業」に認証されました

三重県では、職場における男女共同参画の推進と、「働きがいのある職場環境づくり」を目的に、男女の雇用均等や女性の活躍支援、仕事と生活の調和、次世代育成支援などに取り組み企業等を募集し、調査・確認を行い、県の定める基準に達した企業等を「男女がいいきいと働いている企業」として認証しています。昨年10月1日付で弊社が認証されましたので、報告させていただきます。これからも認証企業として、様々なことに取り組んで参りたいと思っております。



小林 由季 (総務部) はじめまして。三月に入社し、総務を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。また小林です。建築業に関しては全くの無知で、最初は正直不安で仕方なかったのですが、みなさん優しく気にかけてもらい、とても居心地の良い職場で楽しい日々を送っています。今は迷惑をかけたばかりなので、助けてもらいたいが、日々の毎日なので、一日でも早く仕事に慣れる様に、努力していきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

山路 宙史 (建築部) 今年度から伊藤工務店に入社しました。入社して一ヶ月が過ぎましたが、建設業は自分が思ったよりも大変な仕事で、現場でも会社でも、まだまだ分からないことが多く迷惑をかけてばかりです。一人前の現場監督になれるよう会社の基本理念を忠実に実行し、早く仕事を覚えて会社にお客様の役に立ちたいと思っています。最後に、これから少しずつ努力し頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

編集担当 小林 由季  
今回は防災・減災をテーマにしました。人間とは不思議なもので、当事者でない限り、未曾有の災害などが起こると、一年二年と時間が経つにつれ、記憶が薄れていきます。これはどうしようもないことだと思いますが、いつ自分自身が当事者になってもおかしくない状況を持ち続けていきたいと思います。今春、弊社に新しい仲間が二人増えました。これから皆様方と接する機会もあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。編集担当・奥野尚史



小林 由季



山路 宙史

### 新入社員の紹介(自己紹介・原文ママ)